

形成外科 初期臨床研修プログラム

I. 総合目標 (GIO)

形成外科で取り扱う疾患を把握し、どのような患者を形成外科で治療するかを理解する。治療の緊急性のある疾患とそうでないものを区別できるようになる。

II. 行動目標 (SBOs)

・診療

- ① 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- ② 守秘義務を果たし、プライバシーへ配慮できる。
- ③ 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- ④ 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- ⑤ 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。
- ⑥ 院内感染対策を理解し、実施できる。
- ⑦ 創の状態の良し悪しを理解し、指導医に報告できる。
- ⑧ 外科的基本処置ができる。
- ① 手術の助手ができる。

研修方略 (LS : Learning Strategies)

【On the job training(OJT)】

LS1 : 病棟研修

- ・ローテート開始時には、指導医、病棟看護師長と面談し、自己紹介、研修目標の設定を行う。
- ・担当医として入院患者を受け持ち、主治医(指導医)の指導の下、問診、身体診察、検査データの把握を行い、治療計画立案に参加する。毎日、担当患者の回診を行い、指導医と方針を相談する。
- ・病棟回診で術前患者への説明に立ち会い、術前後のオーダー内容を学ぶ。
- ・医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントを実施する。
- ・診療録をPOSに従って記載する。
- ・術後処置を適切に解除し、自分も行う。
- ・ドレーン・チューブ類の管理を行う。
- ・創部消毒とガーゼ交換を実施する。

LS2:外来研修

- ・初診患者に対する対応や簡単な処置を行う。

- ・診療録をPOSに従って記載する。
- ・指導医が行う再診患者の診察を観察する。
- ・軽度の外傷・熱傷の処置を実施する。

LS3:手術センター研修

- ・手術に助手として参加する。
- ・局所麻酔法を実施する。
- ・手術の助手として簡単な切開、縫合、糸切りを実施する。
- ・症例ごとに手術法の選択根拠、手術手技上のポイントを理解する。

【Off the job training(OffJT)】

LS4:カンファレンス

- ・カンファレンスで予定手術の方針を理解し、行われた手術のポイントを理解する。
- ・臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。

LS5:勉強会

- ・抄読会：発表内容を指導医と相談の上、自ら発表する。

LS6:レポート

- ・担当患者についてレポートを作成する。

LS7:自習

評価(Ev : Evaluation)

1. Communication skill (行動目標)

- 1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- 2) 守秘義務を果たし、プライバシーへ配慮できる。
- 3) 指導医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- 4) 他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- 5) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。
- 6) 創の状態の良し悪しを理解し、指導医に報告できる。

2. Medical skill (経験目標)

- 1) 担当医として入院患者を受け持ち、治療計画立案に参加する。
- 2) 毎日、担当患者の回診を行い、指導医と方針を相談する。
- 3) 術後処置を適切に介助し、自分も行う。
- 4) ドレーン・チューブ類の管理を行う。

- 5) 創部消毒とガーゼ交換を実施する。
- 6) 初診患者に対する対応や簡単な処置を行う。
- 7) 軽度の外傷・熱傷の処置を実施する。
- 8) 手術に助手として参加する。
- 9) 局所麻酔法を実施する。
- 10) 手術の助手として簡単な切開、縫合、糸切りを実施する。
- 11) 症例ごとに手術法の選択根拠、手術手技上のポイントを理解する。

3. Academic skill

- 1) 受け持ち症例の臨床的問題について文献の検索評価ができる。
- 2) 勉強会やカンファレンスの場などで症例報告ができる。

【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金
早朝					
午前	外来	外来	手術	外来	手術
午後	外来手術 病棟回診 勉強会	外来手術 病棟回診 カンファレン ス	手術 or 外来手術 病棟回診	外来手術 病棟回診	手術 or 外来手術 病棟回診
夕刻	自習・レポート	自習・レポート	自習・レポート	自習・レポート	

